

2011 年 8 月 9 日

次世代 大型バルクキャリア “G シリーズ” を開発 - GHG 25%削減を達成

ユニバーサル造船(社長：三島 慎次郎)はこの度、温室効果ガス (GHG) 排出を 25%削減した次世代大型バルクキャリア “G シリーズ” を開発し、営業活動を開始致しました。

当社では 2010 年度より「2 年以内に GHG25%削減、10 年後に 50%削減」の目標を掲げ、設計部門のみならず技術研究所など総勢 50 名以上が、本プロジェクトに携わってきました。また、外部研究機関やメーカー各社のご協力もいただき、船体性能の向上と低燃費機関プラントの構築を重点項目として、“グリーン・シップ” 開発を進めてきました。

次世代 大型バルクキャリア “G シリーズ” のうち、20 万トン型バルクキャリア (G209BC) の特徴は以下のとおりです。

- ①抵抗削減と馬力低減に主眼を置き、船体性能の向上、低燃費機関プラントの構築及び実海域性能向上等により、GHG25%削減を達成
- ②最適航路探索・モニタリングシステム SeaNavi®を標準搭載し、船社の省エネ運航計画「船舶エネルギー効率管理計画」(SEEMP - 2013 年 1 月から義務付け) 作成に寄与
- ③当社竣工船比で最大積載量を約 3%増大させるとともに、且つ一日当り燃料消費量 10 トン以上の削減を達成し、既に世界最高水準にある燃費性能から、更なる 2 割以上の向上を実現
- ④本年 7 月に IMO MEPC62 で採択された EEDI (Energy Efficiency Design Index) の Phase 3 (2025 年以降契約船の基準値) が達成可能で、実商談においては EEDI の予備鑑定書を提出できる体制を整備

なお当社の “G シリーズ” は、省エネ技術の「コンセプトデザイン」にとどまらず、2014 年以降の引き渡しが可能なものです。

当社は今後、環境負荷を抑えた低燃費船 “G シリーズ” を、バルクキャリアのみならずタンカー及び他船型にも展開してまいります。また今回の GHG25%削減を一つの通過点とし、2020 年度までに GHG 50%削減という更なる目標の達成に向け、今後とも研究・開発を続けてまいります。

以 上

